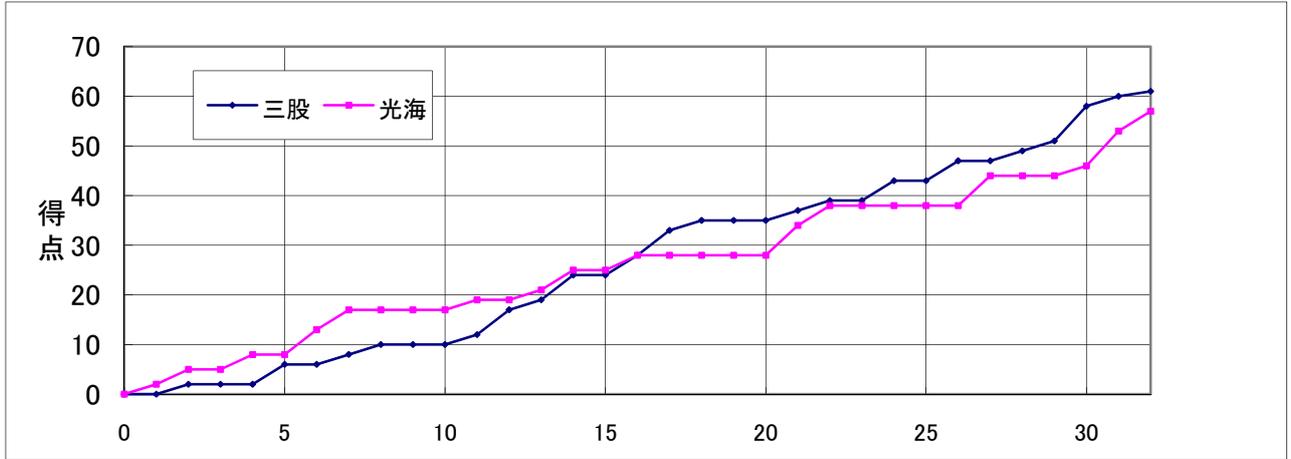


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	C1	10:00	女子1回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	三股 61 (宮崎1位) ○	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>19</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	10	—	17	18	—	11	15	—	10	18	—	19	—	—	—
					10	—	17												
18	—	11																	
15	—	10																	
18	—	19																	
—	—	—																	
会場	大分市コンパルホール	57 光海 ● (長崎2位)																	

主審 平野 智広 副審 後藤 秋文



タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2		
03:31	18:47	—	—	—	—

三股						
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	大山 真実	—	—	—	—	—
5	* 水流 佳奈美	10	2	1	2	5
6	芝原 麗	2	0	1	0	0
7	* 出水 郁未	6	0	3	0	3
8	* 岡崎 理紗 (C)	17	2	5	1	3
9	久保 日夏梨	—	—	—	—	—
10	福留 衣梨	—	—	—	—	—
11	中元 和泉	—	—	—	—	—
12	西内 爽	—	—	—	—	—
13	* 半代 未波	0	0	0	0	3
14	大山 祐実	—	—	—	—	—
15	田邊 芳絵	—	—	—	—	—
16	前田 明香	—	—	—	—	—
17	* 木本 佳那子	26	0	13	0	2
18	永峰 礼菜	—	—	—	—	—
コーチ	黒木 仁					
合計		61	4	23	3	16

タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2		
11:27	17:18	26:03	28:42	—	—

光海						
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 志田 笑美子 (C)	6	0	1	4	2
5	* 釣屋 夏子	27	4	7	1	4
6	* 山下 奈津美	12	2	2	2	4
7	* 中村 翔滯	0	0	0	0	1
8	* 横山 瑞祈	7	0	3	1	2
9	岩松 里歩	3	1	0	0	1
10	浅木 菜留望	2	0	1	0	0
11	礪田 彩美	0	0	0	0	0
12	太田 菜々子	—	—	—	—	—
13	松本 麻衣	—	—	—	—	—
14	中馬 香苗	0	0	0	0	0
15	諸富 咲良	—	—	—	—	—
16	梶山 明日香	—	—	—	—	—
17	早岐 美幸	—	—	—	—	—
18		—	—	—	—	—
コーチ	山本 利子					
合計		57	7	14	8	14

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

### 戦評

九州大会開幕戦。宮崎県代表三股対長崎県代表光海。両者円陣を組んで士気を高める。両者ともにハーフコートマンツーマン。光海はスティールやターンオーバーからの速攻と、#8横山と#4志田のインサイドにパスを合わせ得点していく。三股、長身の#17木本にボールをつなぎ得点。光海の速攻とドライブ、インサイド攻撃が光り、10-17で1Q終了。

2Q、三股#17木本にパスを入れ、パス&ラン攻撃をするが得点に結びつかない。残り4分30秒、三股#17木本のリバウンドシュートと#5水流の3Pシュートで17-19と追いつき、光海がタイムアウトをとる。光海は速攻からの得点、三股は#5水流と#17木本が得点し、一進一退の攻防が続き、28-28で2Q終了。

3Q、三股#8岡崎の3Pと#17木本のワンマン速攻が決まり、三股が一気に7点リード。すかさず光海のタイムアウト。両チームとも選手交代をしながら、流れをつかもうとする。光海#6山下、#9岩松の連続3Pで1点差に詰める。三股は#17木本のポストシュートで応戦し、43-38の三股5点リードで、3Q終了。

4Q、三股のスローインから始まる。光海#5釣屋がフェイスディフェンスされ、攻撃がうまくいかない。三股#17木本の連続得点で9点差となり、光海のタイムアウト。光海#5釣屋へのディフェンスのすきをつき、#5釣屋がバスケットカウントで3点プレー。光海オールコートマンツーマンに切り替える。#6山下の3Pで3点差とする。残り4分45秒、三股のタイムアウト。三股#17木本が確実に得点し、7点差とする。残り3分18秒。光海、最後のタイムアウト。三股は徹底して#17木本にボールを集め得点。残り2分、10点差。光海もあきらめず、最後まで粘る。結局、三股#17木本がボール運びではカウンター、さらに制限区域内を制すなど活躍が光り、61-57で三股の勝利。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

記者 幸, 高山 (所属) 大分県バスケットボール協会